

I. 総括的概要

平成 26 年度の日本 YEG は「YEG INNOVATION!!～“躍動” Yakudou、“縁結” Enketsu、“我地力” Gachijikara～」をスローガンに、「組織強化活動」、「ビジネス支援」の活動を展開した。

「組織強化活動」については、仲田会長が全国 411 青年部を訪問し、それぞれの青年部の抱える課題や地域活性化の取り組みについて、各地の青年部会長と忌憚のない意見交換を実施。全国 411 青年部訪問の成果として、Web 上に全国の青年部訪問記録や事業を紹介する「YEG ナビ」を立ち上げ、青年部活動を広く発信した。また、全国の会員数が 3 万人を超える組織となった日本 YEG の更なる事業活動の展開に向け、規約の一部を改正し、理事設置定数の上限の引き上げを行った。

「ビジネス支援」については、全国の YEG メンバーを対象に同業種間の横の繋がりを提供する「業種別部会交流会」、新たなビジネスチャンスの創出や、自社の隠れた可能性の発見を目的に異業種間で交流する「ビジネス交流会」を各地で開催したほか、YEG メンバーの販路開拓を支援する「YEG モール」の PR を行った。

「東日本大震災復興支援」については、震災の記憶の風化を防ぐとともに、被災地の現状を全国の YEG メンバーに発信するため、「震災復興フォーラム」を宮城県気仙沼市（平成 26 年 8 月 23 日）、福島県いわき市（平成 27 年 1 月 9 日）、茨城県水戸市（平成 27 年 1 月 10 日）で開催した他、東北各地で役員会等諸会議を開催。延べ約 2,400 人が参加した。

また、全国 9 ブロックにおけるブロック大会、「第 32 回全国会長研修会四季食彩の都しばた会議」（11 月 13 日～15 日、新潟県新発田市）、「第 34 回全国大会京都大会」（平成 27 年 2 月 19 日～22 日、京都府内各所）を開催し、各地商工会議所青年部の意識高揚、連携強化等を図った。さらには、経営者としてのリーダー力向上を目的とした「翔生塾」、経営能力やプレゼンテーション能力の資質向上研修も盛り込んだ「ビジネスプランコンテスト」、若手国家公務員との交流・意見交換を行う「故郷の新しい風会議」の開催、若手経営者の声を取りまとめた政策提言、多岐にわたって商工会議所青年部およびメンバー企業の発展に資する活動を展開した。

なお、平成 27 年 3 月末現在の青年部設置数は 457 カ所（514 商工会議所中の設置率 89.9%）、うち日本商工会議所青年部加入は 411 カ所（加入率 88.9%）となっている。

平成 26 年度日本商工会議所青年部事業計画

スローガン

YEG INNOVATION!!

～ “躍動” Yakudou、“縁結” Enketsu、“我地力” Gachijikara～
所 信

わが国は、平成24年末の政権交代以降、デフレ経済からの脱却に向けた金融緩和や成長戦略等といった政府の諸施策や、2020年オリンピック・パラリンピックの日本開催決定などにより、徐々に明るい兆しが見えつつあります。

しかし、依然として、震災復興と福島再生の加速化、エネルギーの安定供給、経済連携協定と農林水産業の強化、社会保障制度の再構築、人口減少・少子高齢化、外交政策、教育など、挙げればキリがないぐらいの問題を抱えております。それぞれの問題については、地域、業種、世代など、それぞれの立場・視点から様々な意見が交わされてはおりますが、解決策をまとめられず、その間に時だけが過ぎ去っているものと思われまます。

そこで、YEG INNOVATION!!

今こそ、我々「YEG青年経済人」がリーダーシップを取り、地域、そして日本の変革の原動力となる時ではないでしょうか。地域で活動するYEGが、様々な問題に積極的に向き合い、解決策を考え、そして実際に行動に移すことで、地域が活力を取り戻し、ひいては日本の再生に重要な役割を果たすことができると確信しております。

こうした“YEG INNOVATION”の実現に向け、今年度の日本YEGは、3つのキーワードを掲げ、活動を展開してまいります。

“躍動” (Yakudou)

躍動に込める思い、それはより一層積極的に行動すること。

平成24年度は、全国各地から『YEG一揆』の狼煙が上がりました。厳しい状況においても決して諦めず、力を合わせ、社会を変える。そうした意気込みで、3つの「こうどう」(考えて動く「考動」、工夫して動く「工動」、前向きに動く「向動」)を心がけ、共に躍動し続けましょう。

“縁結” (Enketsu)

平成25年度に全国各地で共に活動した縁で結ばれた『絆』を、更なる躍動を通じて、より広く、より深め、そして、YEGとして連動性をもって地域の発展に貢献すること。

多くのYEGメンバーと直接会い、それぞれの地域でしか感じ取れないものを体感できる、そんなYEGだからこそ実現できるネットワークを活かす環境づくりに取り組みます。仲間と共に進むことの心強さを体感しましょう。

“我地力” (Gachijikara)

我地力(がちぢから)とは、我々YEGが積極性、連動性、変革を興し成し遂げるまでの継続性を持ち、地域の力となること。

我々個人に力がつけばYEGの力が強くなり、YEGに力がつけば地域の活力となります。

そして地域が活力を取り戻せば、日本の再生へと繋がっていきます。未来への道を進むための「我地力」を身にまとい、揺らぐことなく次世代へ繋いでまいりましょう。

私は、我々YEG青年経済人のあるべき姿、YEGの本質とは、自身の会社を守り育てるとともに、家族、仲間、地域、そして日本を愛する“熱い想い”を持つことであると考えております。

YEG青年経済人としての“熱い想い”を胸に、できる限り多くの人と出会い、共にこの時代を生きるものとして語り合い、YEGを次代の地域、日本に繋がる「考えて動き続ける組織」へと創りあげていきましょう！

運 営 方 針

我々は、次代の地域を担う青年経済人として、資質の向上と会員相互の交流を通じ、企業の発展と豊かな地域を築くことを目的とするYEGの一員です。

現在29,000名を超えるまでに大きく成長してきた集団が連動性をもちながら進むべき道を共に進めるよう、各単会と日本YEGとの連携強化を柱に1年間運営してまいります。

(1) 組織力強化活動

全国の日本YEG未加入青年部、青年部未設置商工会議所への働きかけをします。

各単会から見た日本YEG、日本YEGから見た各単会という2つの観点の合致点を見出し、相互理解を深めるための意見交換会等を実施し、これからの時代に即した組織の創造を目指します。また、友好青年経済団体との連携を深めてまいります。

(2) ビジネス活動

全国規模の組織としてのスケールメリットやネットワークを活かし、地域を越えた同業種・異業種との交流等を通じてビジネスチャンスの創出を目指します。さらに、被災地の復興に繋がるビジネス支援を行います。

(3) 研修活動

個々の会社・単会の発展に繋がる、経済人としての資質向上や知識の習得に寄与する研修会を開催します。

(4) 提言活動

国・地域・業界・個々の会社で抱える問題や要望など中小企業の生の声を取りまとめ、日本商工会議所に対し提言活動を行います。

(5) 広報活動

YEGが取り組む各種事業を積極的に外部に発信することにより、YEGブランドの向上を目指します。

(6) 交流事業

若手公務員との「故郷の新しい風会議」「輝ける未来の風会議」を開催します。また、海外の経済人との交流や、スポーツを通じた交流の創出を目指します。